

早期景気観測調査

【12-1 月期 調査結果概要報告書】

平成28年2月



甲府商工会議所

◆調査要領

1. 調査の目的： 山梨県内で最も速報性の高い『街角の景況感』を把握する調査として中小企業の明日の経営活動に資する。
2. 調査実施機関： 甲府商工会議所
3. 調査実施時期： 平成28年12月15日(火)～平成28年2月1日(月)
4. 調査対象： 当所会員153事業所
5. 調査方法： ファクシミリによるアンケート方式
6. 有効回答数： 111件
7. 有効回答率： 72.6%
8. 特記事項： 原則、小数点以下第二位で四捨五入

◆結果概要

【12-1月期の動き】

仕入単価は改善へと向かうものの、全業種で売上が落ち込み、景況感は大きく悪化。向こう3ヶ月の先行きは改善を見通す。

12-1月期の全業種総合業況DIは▲30.6（前期比▲11.5ポイント）と3期連続の悪化となった。

ガソリンや一部材料価格の値下がり等により、仕入単価は改善しつつあるが、今期はそれ以上に売上DIの悪化が著しく、景況感は大幅な悪化となった。業種による差は見られるものの、従業員DIも不足傾向が続いている。向こう3ヶ月の先行きは改善の見通し。

業種別で見て、今期は全ての業種で前期から業況悪化となっている。また、今期は全ての業種に共通して、前期から仕入単価は改善したものの、売上が落ち込んでいる。

製造業の業況DIは▲14.3（前期比▲14.3ポイント）と、再びマイナス水準に転じた。売上DIは前期からほぼ横ばい（▲6.9→▲7.1）の動きだが、採算・仕入単価DIはそれぞれ0.0と、マイナス水準を脱している。

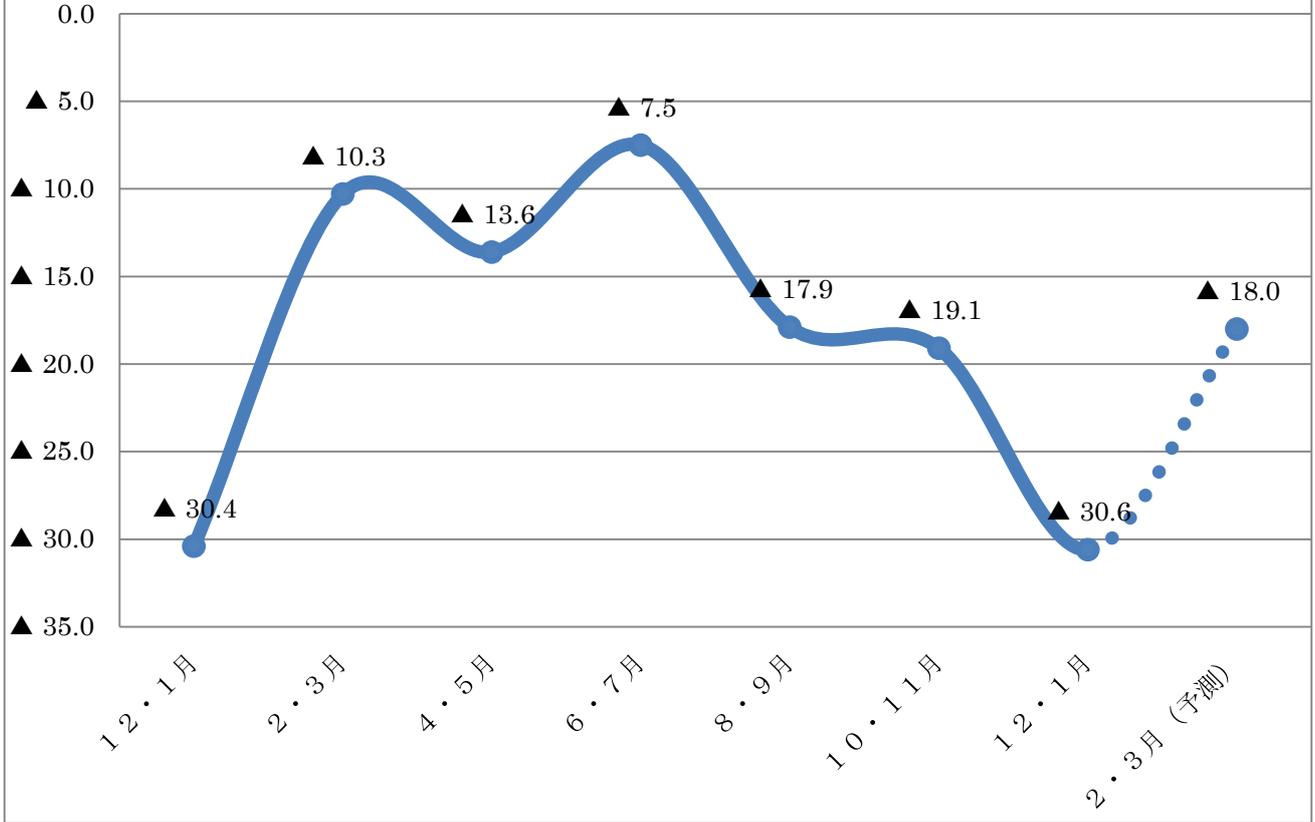
卸売業の業況DIは▲11.8（前期比▲5.9ポイント）と、3期連続の悪化となった。売上DIが▲47.1（前期比▲41.2ポイント）と大幅に悪化となったが、採算・仕入単価は改善し、マイナス水準を脱している。従業員DIについては11.8と不足傾向が続く。

建設業の業況DIは▲42.1（前期比▲10.5ポイント）と、2期連続の悪化となった。売上DIは▲57.9（前期比▲26.3ポイント）と大幅に悪化し、企業からは受注環境の厳しさを指摘する声が挙がっている。3期連続の改善となる仕入単価DIについては、▲10.5と、同業種では非常に高い水準まで持ち直している。

小売業の業況DIは▲59.3（前期比▲9.3ポイント）と悪化に転じた。売上・採算DIはどちらも▲50を下回り、非常に厳しい現状が窺える。仕入単価DIは2期連続の改善となるが、▲42.3→▲40.7とほぼ横ばい圏内の動きに留まっている。企業からは、暖冬や降雪といった、天候の影響を指摘する声があった。

サービス業の業況DIは▲20.0（前期比▲14.7ポイント）と2期連続の悪化。仕入単価DIは▲47.4→▲35.0と、改善に転じたが、売上・採算DIはいずれも▲30.0と、それぞれ2期連続の悪化となった。観光・宿泊業界においては、昨年冬からの利用客減少に、今年の年始の日巡りの悪さが重なり、売上の悪化につながっていると思われる。

業況DIの推移



◆全業種・業種別詳細

※ D I 値 (景況判断指数) について

D I 値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

◆指標の見方

前回D I に比べて (先行は今回実績値に比べて)		
改善	不変	悪化
		
D I 値	D I 値	D I 値

※仕入単価D I は、仕入単価が下落した場合、「↗」 (改善) と表示しております。
従業員D I は、従業員が不足している場合、「↗」 (改善) と表示しております。

◆全業種総合

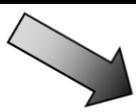
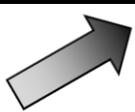
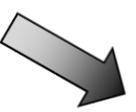
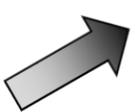
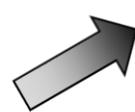
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲30.6	▲18.0	▲37.8	▲22.5	▲18.0	11.7	▲0.9

12-1月期の全業種総合の業況D I は、**▲30.6** (前期比▲11.5ポイント) と3期連続で悪化となった。仕入単価D I は2期連続の改善となり**▲18.0** (前期比+12.9ポイント) と、かなり高い水準まで改善してきている。しかし、売上D I は4期連続の悪化となり、**▲37.8** (前期比▲16.0ポイント) まで落ち込んだ。採算D I についても**▲22.5** (前期比▲1.6ポイント) と2期連続で悪化となっているが、こちらは横ばい圏内の動き。従業員D I は10.0→11.7と不足傾向が継続しており、金融貸出しD I は0.0→**▲0.9**とほぼ横ばいの動きとなった。

向こう3ヶ月の業況は改善を見通している。

◆ 業種別

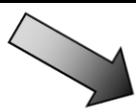
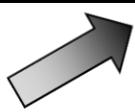
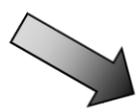
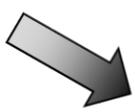
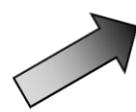
製造業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲14.3	▲3.6	▲7.1	0.0	0.0	14.3	▲3.6

業況DIは0.0→▲14.3と悪化に転じ、再びマイナス水準となった。売上DIは▲6.9→▲7.1と悪化に転じたが、ほぼ横ばい。前期から改善となったのは採算・仕入単価DIの2項目。採算DIは2期連続の改善(▲3.4→0.0)、仕入単価DIは3期連続の改善となり(▲24.1→0.0)、2項目ともマイナス水準を脱した。従業員DIは14.3(前期比+14.3ポイント)と前期から不足感が強まり、金融貸出しDIは0.0→▲3.6と若干の悪化となった。

先行きは▲3.6と改善の見通し。

建設業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲42.1	▲36.8	▲57.9	▲36.8	▲10.5	0.0	0.0

業況DIは▲31.6→▲42.1と2期連続の悪化となった。項目別では売上DIの悪化が著しく(▲31.6→▲57.9)、企業からは公共・民間ともに受注が少ない点を指摘する声が挙がった。採算DIについても前期比▲5.2ポイントの▲36.8と、2期連続の悪化となっている。仕入単価DIについては、▲21.1→▲10.5と、原油・資材価格の値下がり追い風となっているのか、改善の動きが見られる。従業員DIは0.0(前期比▲10.5ポイント)と不足傾向の緩和が見られるが、金融貸出しDIは0.0(前期比▲5.3ポイント)と悪化に転じた。

向こう3ヶ月の業況は▲36.8と改善の見通し。

卸売業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲11.8	▲17.6	▲47.1	11.8	0.0	11.8	5.9

業況DIは▲5.9→▲11.8と3期連続の悪化。項目別では、採算DI(▲11.8→11.8)、仕入単価DI(▲17.6→0.0)が改善となったものの、売上DIが▲47.1(前期比▲41.2ポイント)と著しく悪化し、景況感に影を落とした。従業員DIは17.6→11.8と不足の傾向は続くが、不足感は弱まった。金融貸出しDIは前期から横ばいの動き。

業況の先行きは▲17.6と悪化を見通している。

小売業

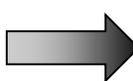
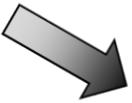
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲59.3	▲18.5	▲55.6	▲51.9	▲40.7	14.8	▲3.7

業況DIは▲50.0→▲59.3と、再び悪化に転じ、DI値は全業種中最も低い水準となった。売上DIは悪化に転じ、▲50.0→▲55.6、採算DIは2期連続の悪化となり、▲50.0→▲51.9と、どちらも低水準を推移する。企業からは暖冬などの天候不順や、年明けの日巡りの悪さ等を業況悪化の原因とみる声が挙がった。

仕入単価DIは2期連続の改善となるものの、前期比+1.6ポイントと、ほぼ横ばいの動き。従業員DIは14.8(前期比+3.3ポイント)と、人手不足の傾向が続いている。

向こう3ヶ月の先行きについては、▲18.5と改善を見通す。

サービス業

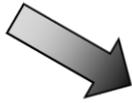
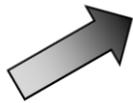
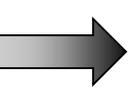
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲20.0	▲20.0	▲30.0	▲30.0	▲35.0	15.0	0.0

業況DIは▲5.3→▲20.0と2期連続の悪化となった。悪化となった項目は売上・採算・金融貸出しの3項目。売上DIは▲30.0（前期比▲19.5ポイント）と、2期連続の悪化となった。採算DIについても▲30.0（前期比▲24.7ポイント）と2期連続の悪化となり、ここ一年では比較的好調であった2項目が低調となっている。企業からは天候不順や、昨年冬以降の観光客の減少を指摘する声があがった。仕入単価DIは改善に転じ、▲35.0（前期比+12.4ポイント）となった。従業員DIは15.0（前期比▲0.8ポイント）と未だに人手不足の傾向が続く。金融貸出しDIは前期から改善し、0.0（前期比+5.3ポイント）となった。

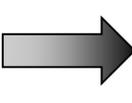
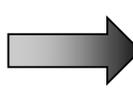
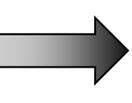
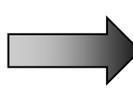
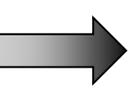
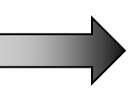
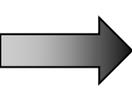
先行きについては横ばいの見通し。

◆ 業種別詳細

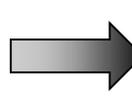
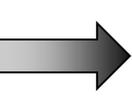
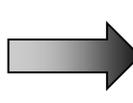
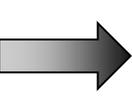
製造業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

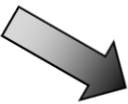
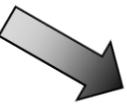
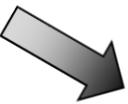
製造業（家具）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

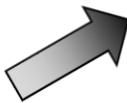
製造業（工業製品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

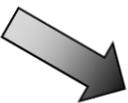
製造業（宝飾）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

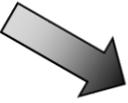
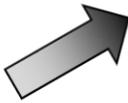
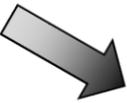
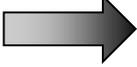
製造業（繊維）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

建設業（建築）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

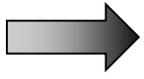
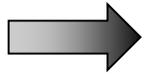
建設業（土木）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

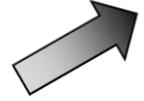
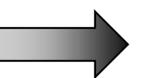
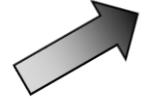
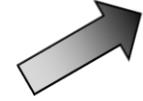
建設業（鉄鋼）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

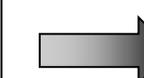
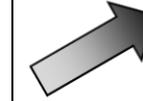
卸売業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

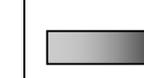
卸売業（繊維）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

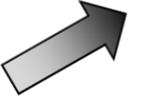
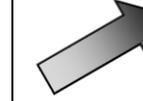
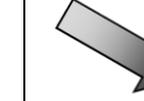
卸売業（その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

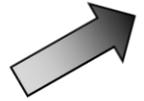
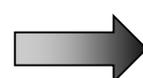
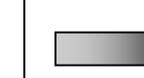
小売業（大型店）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

小売業（食料品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

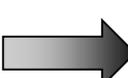
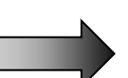
小売業（事務用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

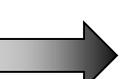
小売業（趣味・日用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

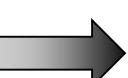
小売業（家電）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス（ホテル・旅館）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス業（観光）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス業（飲食その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

➤ 中小企業の声（現状や直面してる課題）

【製造業】

製造業（食品）

- ・ギフト、おせち、正月際物が好調、単月で昨対 105%となる。業務筋は首都圏外食が元気で、小粒アワビを中心に販路を拡大した。1月は例年並み、静かなスタート。
- ・売店において、昨年8月からの集客の減少により、売上高は厳しい状況が続いている。しかし、一昨年よりの特定銘柄酒の売上高は前年に比べ 150%となった。さらに日本酒の酒質向上を目指し、慶い酒造りをしていきたい。

製造業（家具）

- ・今後どうなるか見通せない。今の中国経済や日本の株価下落、為替相場を誰が見通すことができただろうか、景気の不透明感を思うと 2016 年度はそう楽観視しない方がよいと感じる。

製造業（工業製品）

- ・年末まで好調であったスマホ向けの受注は、得意先の生産調整により新機種立ち上げまでの期間は減少傾向となっている。

製造業（宝飾）

- ・卒業、入学シーズンをむかえ、春の装いと共に宝飾品が動くことを期待しているが…。

【建設業】

建設業（土木）

- ・公共工事・民間工事ともに発注が減少している。原油価格の下落に伴い、資材価格にも値下がり動きがあるが、人件費は上昇が続いている。
- ・景気が悪く民間が冷え込んでいる。民間工事の受注が無く、公共工事は物件の発注が少なく低価格入札が多くなっている。景気が良くなる方法を考えてほしい。
- ・公共工事の減少。

建設業（鉄鋼）

- ・年度末で小さい工事が重なり、3月まで忙しい様子。
- ・材料仕入単価はほぼ横ばい。受注環境は低いところで横ばい。

【卸売業】

卸売業（その他）

- ・原油の価格もそろそろ底打って値上がりに転ずるのではないかとと思われる。
- ・業種（業界）による格差は強く感じられる。

【小売業】

小売業（大型店）

- ・12月、1月上旬までの暖冬により、冬物衣料、特にコートやジャケットなどの厚手の高単価商品の動きが鈍かったため、ファッションショップの売上獲得に苦労した。また、新年が3日日曜日により、正月商戦が短期間になったことも影響があった。

小売業（趣味・日用品）

- ・年末も年初もその雰囲気は全く感じられず、平常よりもむしろ客入りが悪い。
- ・寝具については12月も暖冬だったせいもあってか、売上は減少したが、大手やスーパーに押されているのが実情。内装工事については収益悪化により依然厳しい状況が続くと思う。
- ・異常気象による12月・1月中旬までの暖冬による雪不足や冬物商材が苦戦し、直接的に売上高減少に影響が出た。中旬以降は回復傾向にある。
- ・来店客数の減少、増々厳しい状況になりそうだ。

【サービス業】

サービス業（ホテル・旅館）

- ・年始の日めぐりが悪かった。
- ・昨年10月頃から失速感あり。人材募集の反応はあまり良くない。消費税の増税に不安。
- ・12月、1月は観光で来店のお客様は殆どいなかったが、仕事で滞在する顧客がいたので、多少は良かったと思えるところもあり。それ以外、雪など天候の不順もあり、尚一層暇を感じた。2月は学生（受験）の利用者がいるが、それが終わり暖かくなることに期待をしたい。

サービス業（観光）

- ・燃料価格の低下による仕入れコスト減は向こう3ヶ月においても、報道等の情報から更なる低下も想定される。
- ・昨年の秋以降団体客が少なく売上が減少した。
- ・施設内のトイレ工事を行う予定。数年後に機械設備の工事を行う予定。

サービス業（飲食その他）

- ・天気が例年に比べ安定していたこともあり、人の動きが良かったという印象で、特に1月は好調だった。
- ・人手不足が依然として解消されない。時給も上昇しており、将来的には規模の縮小を考えねばならない。
- ・原油価格の値下がりにより、ガソリン・灯油は下がっているが、円安により輸入品は値が上がっている。日常生活においては上昇している商品の方が多いのではないか。賃金上昇もあまり期待できない中小勤務が多い本県生活者は、消費を極力抑えようとするのが当然と思う。

以上